

都市景観を見据えたまちづくり

# 南の拠点都市 鹿児島市

東京大学大学院  
都市工学専攻教授 西村幸夫

## やってきた篤姫ブーム

鹿児島はNHKの大河ドラマ、篤姫「人に沸いている。名物の芋焼酎だけでも、ずばり「篤姫」から「さつまおこし」篤姫」、「今和泉篤姫」、「天璋院篤姫」、「篤姫の想ひ」などが登場し、ウォーターフロントの商業施設ドルフィンポート内には篤姫館もオープンした。明治維新の巨人、西郷隆盛や大久保利通、日清・日露戦争の英雄 東郷平八郎や大山巖の姿がかすんでしまっ勢いである。

これまで地元でも脚光を浴びなかった、幕末を力強く生き抜いたひとりの女性が注目され、まちまでが元気になってきた。また、「こつした外的要因だけでなく、様々な都市施策が実際に鹿児島を活性化させている。

## 圧倒的な桜島の存在感

今年の元旦の地元紙「南日本新聞」の新年特集に奇抜な合成写真が掲載され、読者の目を奪った。それは、城山展望台から鹿児島市街地、そして錦江湾の向こうにあるはずの桜島がなく、大隅半島の平凡な（？）山並みが続いている不思議な風景である。これは桜島が鹿児島県民にとっていかに大切な存在か、その宝を失

って初めてわかるという趣向だった。

私も見せてもらって驚いた。確かに桜島のない鹿児島市の街地は、単に桜島がないだけでなく、まち自体がことなく無個性で、単なるコンクリート建築のかたまりといった印象になった。桜島がないと鹿児島がどこにでもあるまちに見えるてしまつのである。鹿児島市の風景を鹿児島らしくしているのは他ならぬ桜島だという事実をこのCG写真が雄弁に語っていたのである。

桜島の活火山の大きさと無骨な迫力は圧倒的で、日本にもそれぞれの地方を代表する名山、霊峰が少なからず存在するが、鹿児島と桜島のように正面から向き合うことを宿命づけられている存在は他にはほとんどないだろう。地形的にも鹿児島は桜島の巨大カルデラという閉じた小宇宙からは自由ではないし、日常生活でも降灰の問題で常にこの山とは向き合わざるを得ないのである。



「南日本新聞(平成20年1月1日付)」の新年特集「桜島がなかったら」

## 景観条例の制定へ

近年の景観意識の高まりの中で鹿児島でも桜島の眺望を守る具体的な施策の必要性が語られるようになってきた。そうしたなか、市は2007年12月25日に景観条例を公布、景観計画を告示した。ちょうど3年前の6月1日に景観法が全面施行されたことから命名された「景観の日」から施行するとしている。

鹿児島市景観計画の特色は何と云っても城山展望台からの桜島と手前の錦江湾の水面の眺望を守るための眺望確保範囲で高さ規制が定められていることだ。桜島フェリーが通過する沖防波堤からの城山の眺望を確保する高さ規制も盛り込まれている。

市条例と足並みをそろえて県でも景観条例の検討が進められた。そして市と同じく2007年12月25日に公布している。こちらは理念を高らかに謳った条例であるが、双方が相まって鹿児島市の景観施策は大きく前進することになるだろう。その象徴が県と市とが共同で事務局を受け持つ「かごしま都市デザイン会議」の設立と、同会議が2008年3月にまとめた提言「かごしまらしい都市景観をめざして」である。7本柱の提言の冒頭にも「錦江湾に浮かぶ桜島」と調和した都市景観の形成」が掲げられている。

## 魅力的な環境都市づくり

景観保全だけではなく、市では緑の街並みづくりを各所で進めている。屋上緑化(2006、2007年度で合計40件約2200㎡)や学校の校庭の芝生化の

モデル事業推進(同時期に5校で合計約5000㎡)などと並んで、目に見えて変化が実感できるのが市電の軌道敷緑化だろう。

2008年3月までに鹿児島中央駅前から終点鹿児島駅前までの2.8kmで芝生化を終え、同時に軌道敷のライトアップ、新型の超低床電車の導入、一部歩道のパリアフリー化が進められている。この結果、都市景観がすっきりしたのみならず、夏の晴天時の地表面の温度が緑化した軌道敷内で17度から18度、中央分離帯で24度と低くなり、ヒートアイランド現象の緩和に貢献しているほか、騒音の減少にも効果を上げている。

2004年の九州新幹線一部開業に伴って、それまでの西鹿児島駅周辺が大規模にリニューアルされ、観覧車が上部についた鹿児島中央駅ビルや、駅前広場が整備された。広場内には市電が引き込まれ、冬にはイルミネーションも灯るなど魅力的な拠点都市づくりが着々と進められている。

桜島とじっくり対峙できる都市風景がいま、次第に成熟しつつあるのだ。



西村 幸夫  
にしむら ゆきお

東京大学工学部都市工学科卒業 同大学院修了  
明治大学助手 アジア工科大学助教授  
MIT客員研究員 コロンビア大学客員研究員  
などを経て現職  
専門は、都市計画、都市保全計画、市民のまちづくり論など  
世界文化遺産の評価等を行う世界遺産記念物会( ICOMOS )前副会長 国土審議会特別委員  
文化審議会専門委員  
千代田区景観まちづくり審議会会長など  
著書「都市保全計画」西村幸夫 風景論ノート  
「環境保全と景観創造」など多数



島津家別邸の鐘御殿 この地は島津斉彬による近代化事業の拠点  
しまつ なりあきら



参勤交代の行列も渡った石造の西田橋(移設)石橋記念公園



江戸城大奥などが再現されている篤姫館(ドルフィンポート内)



鶴丸城跡周辺は城下町鹿児島市のシンボルゾーン 歴史と文化の道



篤姫が生まれた今和泉島津家の屋敷跡がある 南洲門前通り



芝生による緑化モデル校となった玉江小学校の校庭



ガラス工芸 薩摩切子がモチーフ 鹿児島中央駅前の「切り燈」



市電軌道敷も夜はライトアップされて美しい 天文館



老舗百貨店も夜の中心街を華やかに彩る いづろ通り



1977年からスタートしたグリーンストーム作戦  
緑濃いクスノキの並木道 ナポリ通り



芝生化された市電軌道敷  
最新の超低床電車(連節車)が軽快に走り抜ける 高見馬場



九州新幹線の始発 鹿児島中央駅  
維新に活躍した「若き薩摩の群像」と  
アミュプラザビル屋上の観覧車



城山展望台から見た市街と錦江湾 桜島 この眺望の確保が市の景観計画の柱になっている